

No.	014	—	2001	事務事業名	人・農地プラン作成事業			細事務事業名					公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	-------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保			
事業の対象	市内全地域の農家						根拠法令	人・農地プラン及び青年就農給付金検討会設置要綱						
事業の目的	最終的	地域における農業経営や集落営農の話し合いに基づき、地域における人と農地の関係を明確にするため、地域農業の5年～10年先を見据えた中長期計画を定め、持続可能な地域農業の確立を図ります。					今年度	市内9地区のプランを更新します。						
活動内容	①	地域における担い手の確保状況の確認・地域農業の将来について話し合いを行い、プランの更新原案を作成します。					④							
	②	新規就農者、離農者等情報の更新を行います。					⑤							
	③													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		40 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	51 千円		20 千円		40 千円							
	計(A)	51 千円		20 千円		80 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	596 千円	0.100 人	601 千円	0.100 人	613 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		647 千円		621 千円		693 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	地域の農業の現状と将来について地元農家が話合う重要な場です。													
有効性	地域の農業の現状と将来について地元農家が話合う重要な場です。													
達成度	作成済のプランの更新のみで、満足な話合いの場を持っていません。													
効率性	各地域ごとに話合いの場を設定しなければなりません。													
当面の課題	各地域ごとに毎年話合いの場を設け、大勢の参加を募ることが困難になっています。													
改計画	各地域で話合いの場を設けるよう、土地改良区や農業委員会に対し周知案内を行います。													
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	1	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		東温市の地域農業における最重要プランです。しっかりと更新と内容の充実を図ってください。												

No.	014	—	2003	事務事業名	認定農業者協議会事務			細事務事業名				公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp			
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保		
事業の対象	市内の認定農業者						根拠法令						
事業の目的	最終的	認定農業者の効率的、安定的な農業経営を図り、地域農業の振興と発展に寄与します。				今年度	認定農業者同士の情報交換および研修会を開催します。						
活動内容	①	認定農業者同士の情報交換会の開催します。				④							
	②	松山地区の認定農業者との交流を深め、自己研鑽のための研修会を行います。				⑤							
	③	経営能力向上のための税務申告について研修を行います。											
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
			事務の性質上、指標設定になじまない。				目標						
							実績						
							目標						
							実績						
							目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費	
直接事業費		平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	50 千円		50 千円		50 千円						
	計(A)	50 千円		50 千円		50 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	596 千円	0.100 人	601 千円	0.100 人	613 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		646 千円		651 千円		663 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	認定農業者同士の情報交換と、経営発展のための研修の場として必要です。												
有効性	認定農業者同士の情報交換と、経営発展のための研修の場として必要です。												
達成度	市内認定農業者の情報交換会や、研修会、勉強会を行いました。												
効率性	松山市の協議会と連携しながら、効率的な事務局運営に努めています。												
当面の課題	認定農業者のうち、協議会未加入者が増加しています。研修会等到大勢の参加者を募るのが困難になっています。												
改計画	協議会の趣旨をご理解いただき、新規加入者の勧誘を積極的に行います。農業者の興味ある内容の研修を開催し、大勢の参加を促します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		全認定農業者の加入を目指し、協議会の活性化を促してください。											

No.	014	—	2089	事務事業名	環境保全型農業直接支援事業			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	---------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	補助等		実施計画	該当	事業期間	27年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興				主要施策	(1)農業振興施策の総合的推進			
事業の対象	農業者の組織する団体						根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律						
事業の目的	最終的	環境保全に効果の高い営農活動を支援し、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献します。				今年度	今年度から新たに交付要件となったGAP認証への取組について、実施する内容や提出する書類の作成の仕方を農業者に対してわかりやすく説明します。							
活動内容	①	環境保全型農業直接支払交付金実施要綱に基づき、補助金の交付事務を行います。				④								
	②	活動組織の事業計画の認定を行います。				⑤								
	③													
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
			事務の性質上、指標認定になじまない。				目標							
							実績							
							目標							
							実績							
							目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
	国・県支出金	191 千円		191 千円		320 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	78 千円		68 千円		120 千円							
	計(A)	269 千円		259 千円		440 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	298 千円	0.050 人	301 千円	0.050 人	307 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		567 千円		560 千円		747 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	環境問題に対する国民の関心や消費者の安全安心な農産物の生産ニーズの高まりからも、環境保全に効果の高い営農活動を支援する必要があるとあります。													
有効性	本市で実施された、化学肥料・化学合成農薬を使用しない有機農業の取組は、地球温暖化防止や生物多様性保全への貢献度が高く、有効性の高い事業となっています。													
達成度	要件や手続きの複雑さからか、新たに取り組む団体がありません。													
効率性	国の補助制度によって実施している事業であるため、コスト削減や実施方法の改善の余地は無いと思われます。													
当面の課題	制度や手続きに複雑な部分があり、化学肥料・化学合成農薬低減の取組など、様々な条件が重なり、取組へのハードルが高いと思われます。													
改訂計画	活動組織が円滑な事業実施を行うことができるように、制度や手続きについてわかりやすく周知し、取組組織の拡大を推進します。													
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		食の安全・安心につながる事業ですので、継続して実施してください。												

No.	014	—	2125	事務事業名	農業次世代人材投資資金			細事務事業名					公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	農林振興課		係名	農林振興係		電話番号	089-964-4409		メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp				
事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	補助等		実施計画	非該当	事業期間	24	年度	～	年度	
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農林業の振興				主要施策	(3)担い手の育成・確保			
事業の対象	新規に農業を始めようとする方。独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満であること。						根拠法令	農業人材力強化総合支援事業実施要綱、東温市次世代人材投資資金交付要綱						
事業の目的	最終的	持続可能な力強い農業の実現に向け、担い手の確保を図ります。				今年度	平成30年度も7名の方に継続して就農支援(給付金150万円)を行います。新規就農の方を2名、見込んでいます。							
活動内容	①	交付対象者への面接、協議等を行います。					④	交付期間内及び交付期間終了後5年間、計画的な就農ができているか実施状況の確認を行います。						
	②	青年等就農計画の内容について審査等を行います。					⑤							
	③	交付対象者へ農業次世代人材投資資金を交付します。												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	農林水産業				費		
直接事業費		平成28年度決算		平成29年度決算		平成30年度予算		備考					
	国・県支出金	9,750千円		11,250千円		14,250千円							
	地方債	0千円		0千円		0千円							
	その他特定財源	0千円		0千円		0千円							
	一般財源	0千円		0千円		0千円							
	計(A)	9,750千円		11,250千円		14,250千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300人	1,789千円	0.300人	1,804千円	0.300人	1,839千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		11,539千円		13,054千円		16,089千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには、経営的に脆弱な新規就農者を、当事業により支援する必要があります。												
有効性	地域農業の今後を担う青年農業者の就農意欲の喚起と、就農の定着を推進することにおいて、使途の自由度が高い当交付金は有効です。												
達成度	交付を受けた青年農業者は営農を継続しており、地域農業の担い手となっています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	農業技術が未熟であったり、施設等の設備が不十分であるなど、新規就農者特有の問題があり、交付期間終了後の農業経営の安定に課題があります。												
改計画	各関係機関が協力して、資金面も含めた施設設備や営農指導による支援を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		次の世代に農業を繋ぐことは重要であり、意欲ある農業者の支援を継続して実施してください。											